

おやべ あちこち

正得公民館の庭



花壇は、園芸クラブのみなさんがボランティアでお世話しています。お互いにやり方を学び合い、自宅の菜園や花壇にも生かしています。

不登校児にも学びの場を 学校以外の居場所 紹介も

上田由美子市議の一般質問③

【上田市議】2022年度に、小学校・中学校で不登校の児童・生徒はそれぞれ何人だったか。また、そのうち岩尾滝の教育支援センター「ふれんど」に通ったのは何人か。

【教育委員会事務局長】2022年度は、小学校では20人、中学校では22人計42人であった。「ふれんど」に通った小学生は8人、中学生は4人で計12人である。前年2021年度では、不登校の児童・生徒は、小学校17人中学校14人計31人であった。

【上田市議】不登校の児童・生徒や保護者に、フリースクールなどの民間施設を紹介したか。

【教育委員会事務局長】フリースクールは、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などをしている民間施設とされている。その規模や内容は多種多様であり、民間の自主性、主体性の下に設置、運営されており、県発行の「富山県子ども若者支援機関マップ」では、県内に12施設あるとされる。

昨年度から今年度まで、相談者へ紹介した実績件数は、4件であり、小矢部市の「大空へ飛べ」や砺波

児童生徒が、自らの生き方を考えられるように

国も「学校以外の学び場は重要」

【上田市議】不登校は問題行動ではなく、誰にでも起こることである。この認識をもとに、国は2016年12月に「教育機会確保法」を制定した。この法律の第13条で、学校以外の場での学びが重要とし、不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、状況に応じた学習活動が行われるよう、その児童生徒と保護者に必要な情報提供などの支援を行うものとしている。2019年10月の文部科学省の通知では、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することを目指す必要があるとしている。

保護者のなかには、学校以外の居場所を知らない人がいる。情報提供が必要だ。

市の「みやの森カフェ」を紹介している。フリースクールは、不登校の児童生徒にとつて自宅以外の新たな居場所になる一方で、入会金や月額費用、交通費などの負担がある。また、フリースクールに通ったとしても、在籍している学校によっては出席扱いにならないことがある。市教育センターでは、個別に話を伺い最良の方策を一緒に探す努力をしている。



【上田市議】今年2023年度に入って、小学校・中学校で不登校の児童・生徒はそれぞれ何人か。その中で、「ふれんど」に通っているのは何人か。

【教育委員会事務局長】2023年5月末で、小学校6人、中学校14人計20人であり、そのうち「ふれんど」には、小学生6人、中学生2人計8人が通っている。

訂正 前号(7/16)に編集上のミスがありました。フィンランドの教育に関する1面リードの末尾に「日本を取り入れるべき点は何かを考えるつどいとなりました。Kさんが紹介したフィンランドの教育の現在を追います。」と、ゴシック体部分を補います。お詫びして訂正します。

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2023. 7. 23
通巻No.1613

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

禁無断転載
複写配布